

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(千葉県第1区)

千葉県選挙管理委員会

あなたが誇れる日本へ — 強さと優しさと —

門山ひろあきプロフィール

昭和39年9月3日生まれ(50才)
 千葉市立緑町中学校卒業
 千葉県立千葉高等学校卒業
 中央大学法学部法律学科卒業
 司法試験合格
 最高裁判所司法修習生
 弁護士(現職)
 社会福祉法人理事(現職)
 千葉市障害者専門相談事業専任相談員
 中央大学大学院法務研究科
 エクスターニシップ指導担当弁護士
 千葉家庭裁判所家事調停委員
 千葉大学大学院専門法務研究所非常勤講師
 衆議院議員1期
 自民党千葉1区(中央区・稲毛区・美浜区)支部長

自民党 景気回復、この道しかない

門山ひろあき 基本政策

責任・決断・実行

- 1 「自律国家日本」の創造**
人間は皆尊敬に値し、自由に行動し自由に選択する自律的存在であるという確信の下に、国民の皆様は自律性と民主主義を大切に、「自律国家」の創造を基本政策とします。
- 2 平和と繁栄を確かなものにする外交政策**
国民の皆様は将来にわたる平和と繁栄を守るため、自国の基本理念を持ち、「主張すべきは主張する」外交を推進します。
- 3 将来にわたる成長のための経済政策**
成長戦略や金融・財政政策などハード、ソフト両面にわたる政策について、時間軸の中で戦略的・効果的に実施することにより、企業・事業者を支援し、停滞している日本経済を支える産業を活性化させ、国富の増大を図ります。
- 4 歳入と歳出のバランスの確保**
国家財政の危機的状況の中で、まず非効率な歳出の見直し、財政支出の再検証や行政組織の効率化等の歳出削減を徹底して実施し、成長戦略の効果を見ながら公正・公平な歳入確保策を国民の皆様との理解を前提に検討します。
- 5 教育の充実**
子どもたちの教育においては、学力・体力の向上はもとより、体験学習等を通じた規範意識・役割意識の醸成や、道徳教育等を通じて、「将来の主権者」として実社会の中で力強く生きていける「自律」した人間を育てます。
- 6 格差の是正と全ての国民が安心して暮らせる社会の実現**
生存権の保障や公平性の原則から、適正な格差是正を行ない、「安定した持続可能な社会保障制度」を確立するとともに、高齢者・障害者・疾病のある方々等が「生き生きと安心して暮らせる」ための適正な給付や補助の実現、救急医療体制などの医療体制の充実に努めます。
- 7 民主主義の基盤を守るための制度改革**
民主主義の前提となる国民の知る権利をより確実にするとともに、国会議員定数や選挙制度の改革などを進めます。また、国民生活の安全保障の観点から、災害に強い国づくり、資源・食糧の安定的供給の確保、犯罪の減少に向けた政策を推進します。



かどやま 自民党公認
門山ひろあき

自民党・民主党ではできない、次世代の党にしかできない政策を提案します。

すべては子供達のために!

- 年金… 払った分が返ってくる積立方式に移行
- 生活保護… 支給を日本人に限定し、現物支給化
- 集団的自衛権… 同盟国と共同で自国を防御することを容認
- 歴史問題… 朝日新聞の誤報・河野談話の真相を徹底追及し、日本の尊厳と名誉を守る
- 移民受入れ… 他国の失敗に学ばない安易な外国人労働者の受入れ反対

	①年金	②生活保護	③集団的自衛権	④歴史問題	⑤移民受入れ
次世代	○	○	○	△	×
自民	×	○	○	△	○
民主	×	×	×	×	○
維新	○	×	△	×	○

田沼たかしプロフィール

- 昭和50(1975)年生まれ 38歳 千葉市出身 2児の父
 - 園生幼稚園、小中台南小、小中台中、千葉東高校、東京大学卒
 - 外資系経営コンサルティング会社勤務(7年間)
 - 30歳のときに、ゼロから政治の世界に飛び込む
- きっかけは、鹿児島県の知覧にある特攻隊記念館を訪れたこと。特攻隊の実物の遺書に魂を打ち抜かれ、多くの先人の犠牲の上に成り立つこの国を先人に恥ずかしくない、誇り高き日本にすることを決意。
- 千葉市議2期を経て、先の衆院選で初当選。文科、環境、財務金融、拉致委等に所属。
 - 旧日本維新の会分党に伴い、政界再編優先の橋下氏とではなく、政策堅持優先の石原氏との道を選び、「次世代の党」へ!
 - 党広報局長、政調副会長に異例の大抜擢。
 - 行動派として知られ、国会質問30回突破。1年生議員としては異例の本会議質問も2回。
 - 千葉の駅立ち王。駅立ち1100回突破。

1. 子供達に安全で名誉ある日本を!

- 危機にある領土防衛のため、防衛予算を増強。憲法9条を改正
- 慰安婦問題において、不当に貶められている日本の名誉を回復する。朝日新聞の誤報を徹底追及し、河野談話を見直す
- 失策つづきで前進のない拉致交渉は、断固たる姿勢に転換。強い姿勢で臨む

2. 子供達に明るい未来を!

- 財政再建、持続可能な社会保障へ
- 相変わらず放漫な財政支出を一新。責任を明確化し、支出に上限を設定
- 年金は積立方式にし、払った分返ってくる制度に
- 3兆円を超える生活保護は改革待ったなし。支給を現物支給化・国民限定化
- 人口の増える国へ。多産支援、3世代同居近居を奨励

3. 子供達に誇りと規範意識の持てる教育を!

- 日本に誇りを持てる歴史教育で、先進国最低クラスの子供達の自尊心を高める
- 道徳教育・規範教育の推進で、日本社会に秩序と温かみを取り戻す
- 教育委員会制度を抜本的に改革し、無責任体質になっている教育に活力を取り戻す

4. 子供達に夢とチャレンジある日本を!

- 1人当たりGDPランクで再びトップ10へ!
- アベノミクスは方向性は良いものの、軌道修正が必要。過度の円安を是正し、日本の将来につながる「次世代の技術」へ大規模投資を実施。(例) 水素エネルギーやロボット技術の開発、成田と羽田のリニア接続による国際ハブ空港化など
- IR(統合型リゾート)の導入により、世界中の富を呼び込む(幕張誘致を目指して!)
- 法人税の大幅引き下げで(25%ほど)、世界中から企業を誘致する

ブレない日本派。新しい選択肢。次世代の党



次世代の党
田沼たかし 38歳

衆議院議員選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **12月14日(日)**

投票時間 **午前7時~午後8時**

この選挙公報は、千葉県第1区選挙公報です。

◎千葉県第1区に属する区域

千葉市(中央区)
 (稲毛区)
 (美浜区)

期日前投票・不在者投票は、12月13日(土)までの毎日、原則午前8時30分から午後8時までできます。

詳しくはお住まいの市区町村の選挙管理委員会までお問い合わせください。

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(千葉県第1区)

千葉県選挙管理委員会

比例代表は

日本共産党

とお書きトから

安倍暴走ストップ! 政治を変える

沖縄知事選挙で米軍基地建設中止を掲げた翁長雄志さんが圧勝。共産党は、元自民党、経済関係者などと一緒に「オール沖縄」のたたかいに全力をあげました。

国会では「ブラック企業規制法案」を提出。厚労省がブラック企業対策にのりだしました。また、国民の願いに応え、秘密保護法の「廃止法案」を共同で提出。

国民と力を合わせる共産党を大きく伸ばして、未来を切り開きましょう。

保守の方とも共同して政治を動かしています

再稼働やめよ 原発ゼロの日本を

鹿児島県内原発は、巨大噴火への備えも避難計画もありません。「再稼働」などいっていいことでもありません。いま、稼働中の原発は「一基もなく、原発なしでも日本社会はやっていきます。」

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない

集団的自衛権の行使とは、イラクやアフガンのようなアメリカの戦争で、自衛隊が「戦闘地域」に行くこと。

- 憲法9条を生かした平和外交をすすめます
- 紛争は話し合いで解決、「北東アジア平和協力構想」を提唱しています
- 国民の目と耳、口をふさぐ秘密保護法の廃止を

アベノミクス

暮らし第一で経済たてなおし

大企業と大企業は大儲け。物価上昇、実質賃金低下で庶民の暮らしは大変に。この2年、格差拡大と景気悪化だけが進行。

- 人間らしく働ける雇用のルールをつくりまます
- 社会保障：切り捨てから充実へ
- TPP撤退、農業・中小企業を応援します

消費税 10%

「先送り」でなくキツパリ中止

消費税に頼らない別の道があります

8%で「増税不況」に。増税引き上げを決めた3党の責任は重大。

- 富裕層と大企業に自分の負担をもとめます
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収を増やします

私は、ブラック企業の横暴とたたかってきました。青年団体の責任者としての経験を生かし、若者の雇用拡大や給付制奨学金創設にがんばります。

「増税不況で大変」「戦争でできる国はゴメン」という声に追い込まれた解散・総選挙。安倍政権の暴走ストップ、国民の声が生きる新しい政治への転換めざして全力をあげます。



よしだ
吉田まさよし

日本共産党

27歳

企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を

政治をゆがめる企業・団体献金や、税金を山分けする政党助成金はいっさい受け取らない共産党。清潔な政党だからこそ「政治とカネ」や腐敗を厳しく追及できます。

日本共産党
検索

暴走する権力にNOを! 暮らしの安心と真の景気回復を

国民生活を大きなリスクに晒す極端な金融バブル経済政策、アベノミクスは止める。教育をはじめ人への投資、未来への投資を着実に増やし、分散型エネルギー分野などの新たな産業を育てる。そして、全ての人に「居場所」と「出番」のある、雇用を軸とした安心社会を広げていく。私はプレることなく頑張ります。

田嶋 幸

The Democratic Party of Japan
民主党 連合推薦

幸せの「五重マル」に取り組みます。

- ◆自分と家族には【健康と暮らしの安心】を
千葉県での重要課題でもある医療政策を中心に、健康寿命を伸ばす。オランダに学び、終末医療政策と自転車活用政策にも取り組む。若者、女性、高齢者、障がい者など、全ての人に居場所と出番のある社会、そして希望する全ての人に、その能力に応じた仕事がある、生涯現役社会を目指す。
- ◆地域には【活力と安全】を
地域のきずなづくりに汗をかく全ての人々を応援。また、伸びる中小企業や工業高校への支援と人への投資を重視。さらに、刑務所・少年院・更生保護施設などの現場や海外の先進的取り組みに学び、保護司の方々とも連携し、出所者の再犯防止と雇用対策に取り組み、犯罪被害者を一人でも減らせる社会をつくる。
- ◆日本には【使命感とメシの種】を
技術革新、規制改革、市場育成を推進し、日本を世界の憧れの国、環境に優しい、地産地消の分散型エネルギー社会の「ショーケース」にする。海外から多くが観光や視察に訪れ、また海外、特にアジアに、使命感を持ってこようとした社会を広げることが、日本の次の「メシの種」になる。原発からは2030年代までの出来るだけ早い時期に卒業する。
- ◆アジアには【環境】を
強力な親日ラインである台湾・ベトナム・フィリピン・ミャンマー・インドを特に重視し、外交・経済・教育・文化などの面での人的交流を活発化させる。日本の経験と環境技術を活かした分散型エネルギー社会をアジアに水平展開する。
- ◆世界には【平和】を
世界で唯一の被爆国として、また、深刻な原発事故を起こした国として、核の無い世界、テロに狙われない世界をつくる。さらに、世界の分散型エネルギー社会の実現をリードし、有限の資源を巡る国家間の争いの無い世界をつくる。

人は誰でも、五重マルの真ん中で、幸せになろうと頑張っています。その中心には自分と家族のマル。その外側に地域のマル、次に日本のマル、アジアのマル、そして一番外側に世界のマルがあります。

人々のこの幸せの「五重マル」をさらに広げるために、たじま要はこれからも、以下の具体的政策に全力で取り組みます。

たじま要のプロフィール

- 1961年 昭和36年9月22日生まれ O型。
- 1985年 東京大学法学部卒業、NTT、世界銀行グループなどに勤務(海外在住9年半)。
- 1991年 米国ペンシルベニア大学ウォートン校にてMBA。
- 2003年 民主党公認候補として第43回衆院選にて初当選。
- 2009年 3期目の当選、政権交代を実現し、事業仕分けを担当。
- 2010年 経済産業大臣政務官(9月~2011年9月)
- 2011年 原子力災害現地対策本部長として福島市に駐在。事故対応・被災者支援に従事(6月から9月)。震災復興特別委員会理事として復興法制度の整備をリード。
- 2012年 経産部門主査としてエコカー減税、自動車重量税の軽減、中小企業支援税制等を実現。逆風の中、4期目を小選挙区で当選。
- 2013年 公職選挙法改正に取り組み、インターネット選挙運動解禁を実現。
- から現在まで 民主党の内閣経済産業大臣として中小企業支援政策や税制改正に取り組みとともに、エネルギー環境調査会事務局長として資源エネルギー政策の立案に取り組み。

ホームページ www.k-tajima.net
ツイッター twitter.com/kanametajima
フェイスブック facebook.com/tajimakaname



民主公認
たじま要
かなめ

衆議院議員選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 12月14日(日)

投票時間 午前7時~午後8時

この選挙公報は、千葉県第1区選挙公報です。

◎千葉県第1区に属する区域

千葉市(中央区)
(稲毛区)
(美浜区)

期日前投票・不在者投票は、12月13日(土)までの毎日、原則午前8時30分から午後8時までできます。詳しくはお住まいの市区町村の選挙管理委員会までお問い合わせください。